

# プログラム 聖書引用：新改訳2017より、その他の曲日本語訳：佐藤裕希恵

## 1 神をほめたたえよ《Laudate Dominum》 C. モンテヴェルディ (詩篇 150 篇より)

神の聖所で 神をほめたたえよ。／ 御力の大空で 神をほめたたえよ。  
角笛を吹き鳴らして 神をほめたたえよ。／ 琴と豎琴に合わせて 神をほめたたえよ。  
タンバリンと踊りをもって 神をほめたたえよ。／ 音の高いシンバルで 神をほめたたえよ。  
鳴り響くシンバルで 神をほめたたえよ。／ 息のあるものはみな 主をほめたたえよ。  
ハレルヤ

## 2 マニフィカト《Magnificat》 P.F. ベデッカー (ルカの福音書 1 章 46-55 節より)

私のたましいは主をあがめ、私の霊は私の救い主である神をたたえます。  
この卑しいはしのために目を留めてくださったからです。  
ご覧ください。今から後、どの時代の人々も私を幸いな者と呼ぶでしょう。  
力ある方が、私に大きなことをしてくださったからです。  
その御名は聖なるもの、主のあわれみは、代々にわたって主を恐れる者に及びます。  
主は御腕で力強いわざを行い、心の思いの高ぶる者を追い散らされました。  
権力のある者を 王位から引き降ろし、低い者を高く引き上げられました。  
飢えた者を良いもので満ち足らせ、富むものを何も持たせずに追い返されました。  
主はあわれみを忘れずにそのしもべ イスラエルを助けてくださいました。  
私たちの父祖たちに語られたとおり、アブラハムとその子孫に対するあわれみをいつまでも忘れずに。  
父と子と聖霊との神に、栄光がありますように。  
初めにそうであったように、今も いつも とこしえまで 限りなく。  
アーメン

## 3 トッカータ・アルペジャータ《Toccatà arpeggiata》 G.G. カプスベルガー

\*テオルボ独奏

### テオルボとは

今回のコンサートで演奏する、バロック時代に愛されていた「テオルボ」という撥弦楽器をご紹介します。長いネックに張られた低音弦が特徴で、「リュート」の仲間の中でも特に大型の楽器です。大きいものでは2メートル近くになることも。リュートは「西洋の琵琶」と言えばイメージを掴みやすいでしょうか。起源はおそらくアラブの楽器「ウード」にあると云われ、洋梨を縦に割ったような丸いボディを持ちます。テオルボは特に17世紀のイタリア、フランスをはじめ、ヨーロッパ中で活躍しました。独奏曲から歌・楽器とのアンサンブルまで、レパートリーは様々。繊細なピアノシモから力強いフォルティシモ、やわらかい音色からエッジの効いた音色まで、弾き次第でさまざまな表情を魅せることができます。バロック期のヨーロッパが生んだ木の器からどんな音色が紡ぎ出されるのか、どうぞお楽しみに。

#### 4 幼子イエスに寄せる子守唄 《Ninna nanna al Bambino Gesù》 O. ミキ

ねんねんころりの 子守唄 / ねむれ息子よ 愛しい我が子 / 息子よねむれ 愛しい我が子  
この涙と声は ああ 十字架を求めるのでしょう  
今はねむる時間 泣かないで やがて痛みの時がくる / ねむれ 愛しい我が子

この神々しい頭を やがて 痛々しいイバラが貫く時がくる  
今はこの胸でおやすみ いずれ十字架を床(とこ)とする日がくるのだから  
おねむり 苦い涙は流さずに / ねむれ 愛しい我が子

#### 5 聖処女の嘆願 《The Blessed Virgin's Expostulation》

H. パーセル (ルカの福音書2章41-50節のエピソードに基づく)

慈悲深い天使よ、すぐに教えてください 私の愛しい我が子はどこにいるのか  
虎の住処に、それとももっと残酷なヘロデ王のところに？  
ああ、そうではなく どうかあの子の小さな歩みを荒野へと踏み込ませてください。  
どう猛な人々の住む荒野でも 暴君ヘロデの宮廷よりは穏やかで、砂漠でも安全でしょう  
なぜ、なぜなの 最愛の我が子よ なぜ私の愛する眼差しから姿を消してしまったの？  
あれは白昼夢だったの？あなたの驚くような誕生の御告げは？  
天から与えられた光景ではなかったの？

ガブリエルはどこに？私のもとを訪れた ガブリエルは？  
彼を呼びましょう、ガブリエル！ ガブリエル！ ガブリエル！  
彼はやって来ない。はかない希望よ、さようなら。

ユダの娘たちは かつて私を抱擁し 母親の中で最も祝福された者と呼びました。  
しかしいまや、運命は変わり、母親の中で最も苦しんでいる者となりました。

どのようにして 私の心はその感情を制することができるでしょう。  
どのようにして 様々な流れに逆らうことができるでしょう。  
私の信仰と疑いが 私の苦しむ心を引き裂くはざまで？

愛しいあの子が見えない間、私は神を信じます。  
しかし ああ！私は心配なのです、我が子のことが。

## 6 私はあらゆるときに主をほめたたえる 《Ich will den Herren loben allezeit》

H. シュッツ (詩篇 34 篇 2-4,6 節より)

私はあらゆるときに 主をほめたたえる。／ 私の口には いつも主への賛美がある、ハレルヤ。  
私のたましいは主を誇る。／ 貧しい者はそれを聞いて喜ぶ、ハレルヤ。  
私とともに主をほめよ。／ 一つになって 御名をあげよう、ハレルヤ。  
私が主を求めると 主は答え ／ すべての恐怖から 私を救い出してくださった、ハレルヤ。  
すべての苦難から救ってくださった、ハレルヤ。

## 7 私はいのちの限り主に歌い 《Cantabo Domino》 A. グランディ(詩篇 104 篇 33-34 節より)

私はいのちの限り 主に歌い ハレルヤ ／ 生きるかぎり 私の神をほめ歌います。ハレルヤ。  
私の心の思いが みこころにかないますように。／ 私は主を喜びます。ハレルヤ。  
主よ喜びます、主を、我がイエスを。ハレルヤ。

## 8 この痛々しいいばら 《Queste pungenti spine》 B. フェッラーリ

この痛々しい いばらは 底知れず深い森に茂り 育ち、  
我が主を 神を(ああ なんと残酷にも) 苦しめ 貫くのだ。  
それは神聖な矢 天の炎によって  
和らげ 強め 受け入れ 喜ばせてくれるのだ  
(ああ なんとという慈悲) 神聖で敬虔な心を。  
そして、我が心よ お前は「苦痛」とは何であるか わかっていない  
まだ感じないのか この「愛」を？

## 9 パッサカリア 《Passacaglia》 G.G. カプスベルガー

\*テオルボ独奏

## 10 タベの賛歌 《An Evening Hymn》 H. パーセル

今や太陽はその光にヴェールをかけ ／ おやすみと告げる  
私は体を柔らかなベッドに休めるけれど ／ この魂はどこで安らげばいいのだろう？  
親愛なる神様、それはあなたの腕の中です。／ これほど優しく安全な場所は他にあるでしょうか！  
ああ 私の魂はあなたのくださる平安を歌い ／ 日々絶え間ない恵みを讃えます  
ハレルヤ